

【おいしさ再発見！伯方の塩】プレゼント企画 第2弾 伯方の塩3種セット



「は・か・た・の・しお♪」のCMでおなじみの「伯方の塩」。スタンダードな粗塩をはじめ、伯方の塩で漬けた梅干しなど、様々な商品をセットにして毎月プレゼントします！ 朝日マリオン・コム編集部による「伯方の塩」にまつわる《ひとつまみコラム》もお届けします。

第2弾は、「伯方の塩3種セット」（850円）を、15人に。

ネットショップ限定の「伯方の塩 抹茶塩1g×50個入り」と、「伯方の塩スタンドパック200g」、「伯方の塩・焼塩250g」の3点セット。

抹茶塩は、にがりをほどよく残したサラサラの「伯方の塩・焼塩」と有機JAS認定の宇治抹茶だけで作り、使い切りサイズで、いつでも挽きたての抹茶の香りと色が楽しめる。お料理に添えて「つけ塩」に。

▼「伯方の塩 抹茶塩」の商品詳細はコチラ

<https://www.hakatanoshio.com/shopdetail/000000000248/ct18/page2/recommend/>

▼「伯方の塩」ネットショップ

<https://www.hakatanoshio.com/>

※伯方の塩は輸入天日塩田塩と日本の海水が原料です。

◎伯方の塩 ひとつまみコラム◎

愛され続けるシンボルデザイン

力強い筆致で書かれた「伯方の塩」の文字。その下には、平行にうねる赤と青のラインと、愛らしい鳥が3羽舞う「伯方の塩」のシンボルデザイン。「伯方の塩」という赤い文字が太陽を、水紋の青は波を表し、赤は太陽が映ったイメージを表現しています。また、別の意味では血潮をイメージし青は静脈、赤は動脈も意味しているそうです。

......*...*...*

「伯方の塩」の書の制作者は、アートディレクターでグラフィックデザイナーの天野幾雄（いくお）氏。今でこそ制作者が分かっていますが、実は長い間、この文字は「書き人知らず」だったといいます。

また、デザインの発案者は、故・渡辺正範氏。1973年、当時「健康と友社」を経営していた渡辺氏は、伯方島にある伯方塩業工場を訪れた際、隣の丘の上からの望む海と陸の眺望に感動し、このデザインを思い付いたそう。

一雲一つなく晴れ渡った海面上を、海鳥が飛び交う光景一。

当時、渡辺氏はこのデザインにどんな思いを託したのでしょうか。

......*...*...*

それからおよそ47年。このシンボルデザインは変わることなく、商品パッケージにあしらわれ、愛され続けています。

▼登録商標のデザインについて

<https://www.hakatanoshio.co.jp/trivia/about-logo.html>

▼伯方塩業公式サイト

<https://www.hakatanoshio.co.jp/>

▼おいしさ再発見！伯方の塩特集ページへ

https://www.asahi-mullion.com/contents/present/hakatanoshio_special_2020/index.html

〈当選発表は発送をもって代えさせていただきます〉
〈当選権利は、第三者への譲渡または換金等はできません〉
〈ご住所、電話番号などの登録情報をご確認ください〉

🕒 2020年11月19日16時締め切り